

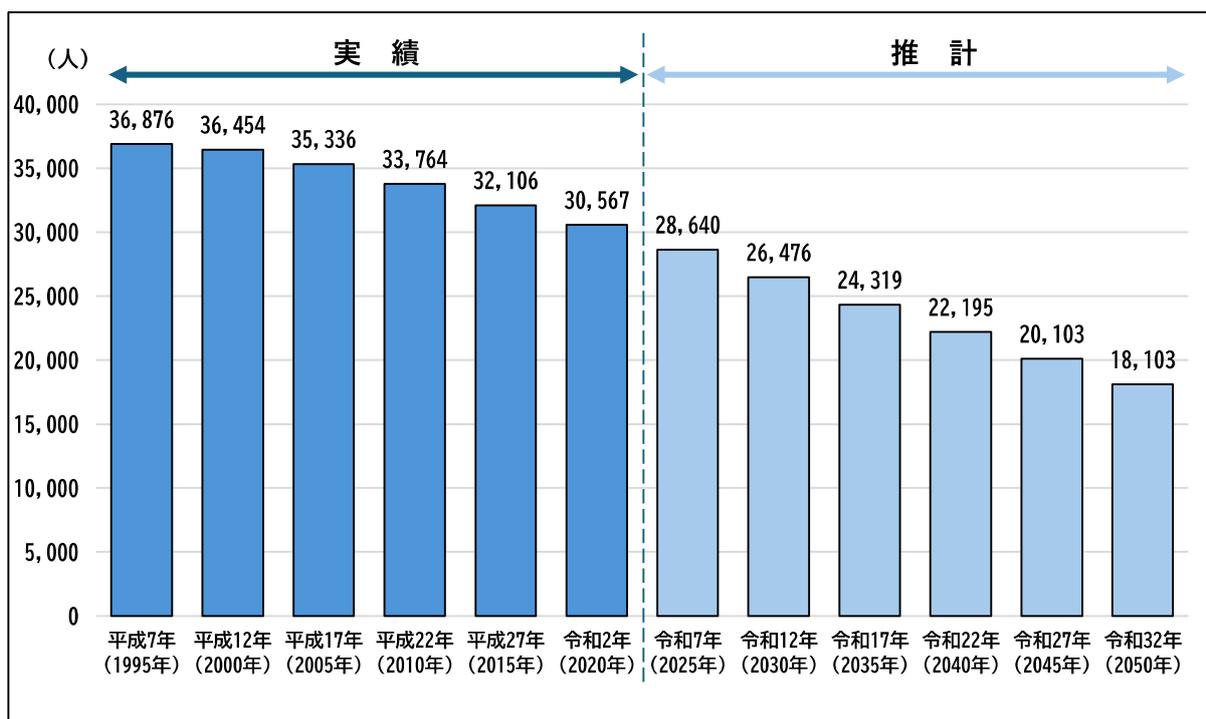
第3章 将来見通し

3.1 国立社会保障・人口問題研究所による推計値

国立社会保障・人口問題研究所による本市の人口推計結果をみると、今後も人口減少が続き、令和32年(2050年)では18,103人まで減少するものと見込まれています。

「平川市人口ビジョン(平成27年(2015年)11月)」では、将来の人口減少を抑え、令和22年(2040年)の展望人口を25,190人としています。

図3.1.1 将来人口



出典：国勢調査(平成7年(1995年)～令和2年(2020年))

※令和7年(2025年)以降は「日本の地域別将来推計人口(令和5(2023)年推計)」国立社会保障・人口問題研究所

3.2 100mメッシュ別の人口推計

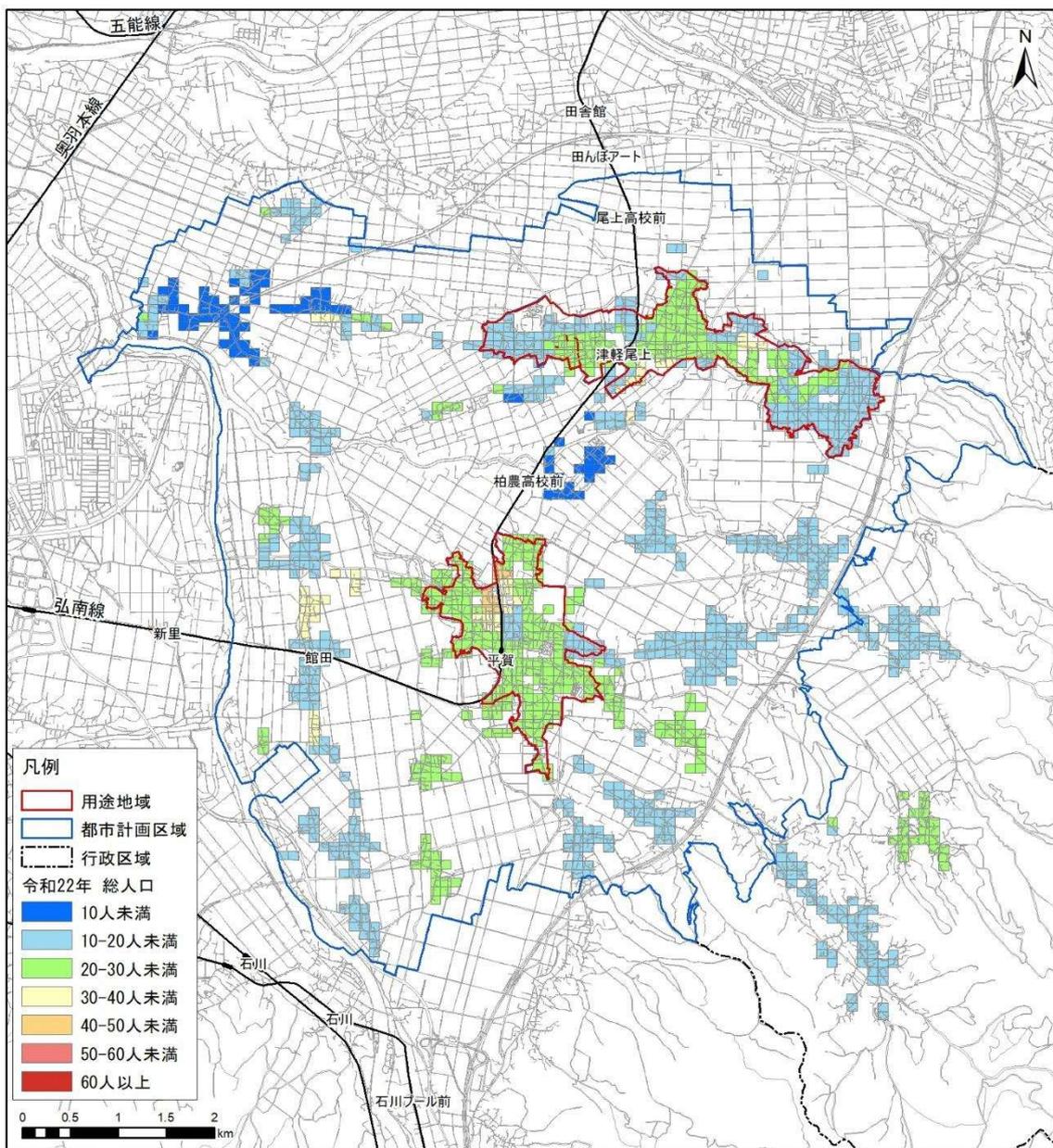
本市の人口推計値をもとに、国土技術政策総合研究所の「将来人口・世帯予測ツール V3(R2 国調対応版)」を用いて100mメッシュ単位に推計値を算出し、将来の人口分布の状況を図として示します。

3.2.1 100mメッシュ別人口推計

令和22年(2040年)の人口分布の推計結果をみると、令和2年(2020年)の人口密度に比べ、全体的に密度が低下しているものの、平賀駅周辺及び津軽尾上駅周辺では20人以上のメッシュが多く、市内では人口密度の高い市街地が維持されると見込まれています。しかし、市街化区域であっても、尾上地域の市街化区域の東西両端では20人未満のメッシュが多くなると見込まれています。

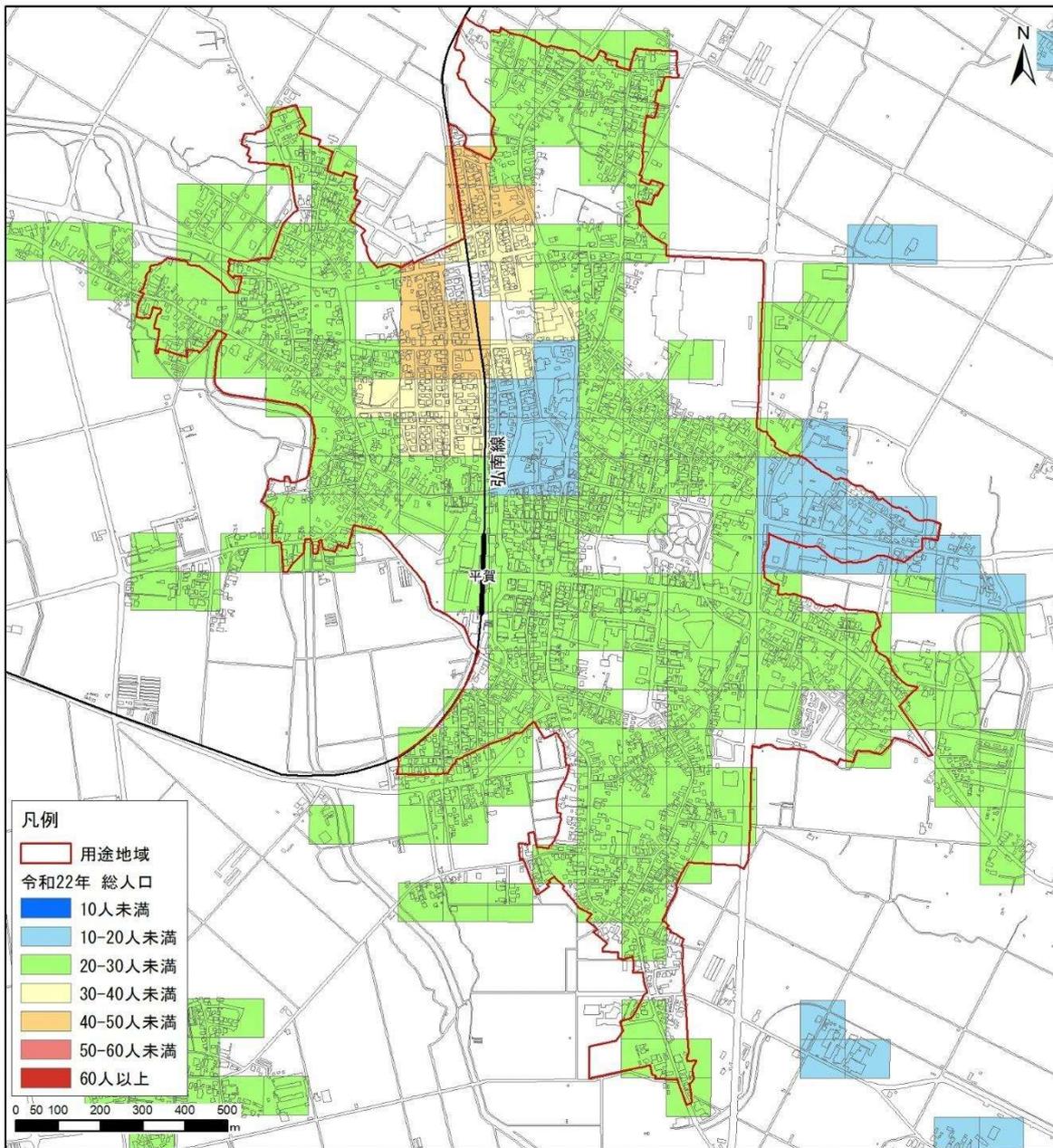
また、市街化調整区域の集落地についても、20人未満のメッシュが多くなると見込まれています。

図3.2.1 100mメッシュ人口(令和22年(2040年)都市計画区域)



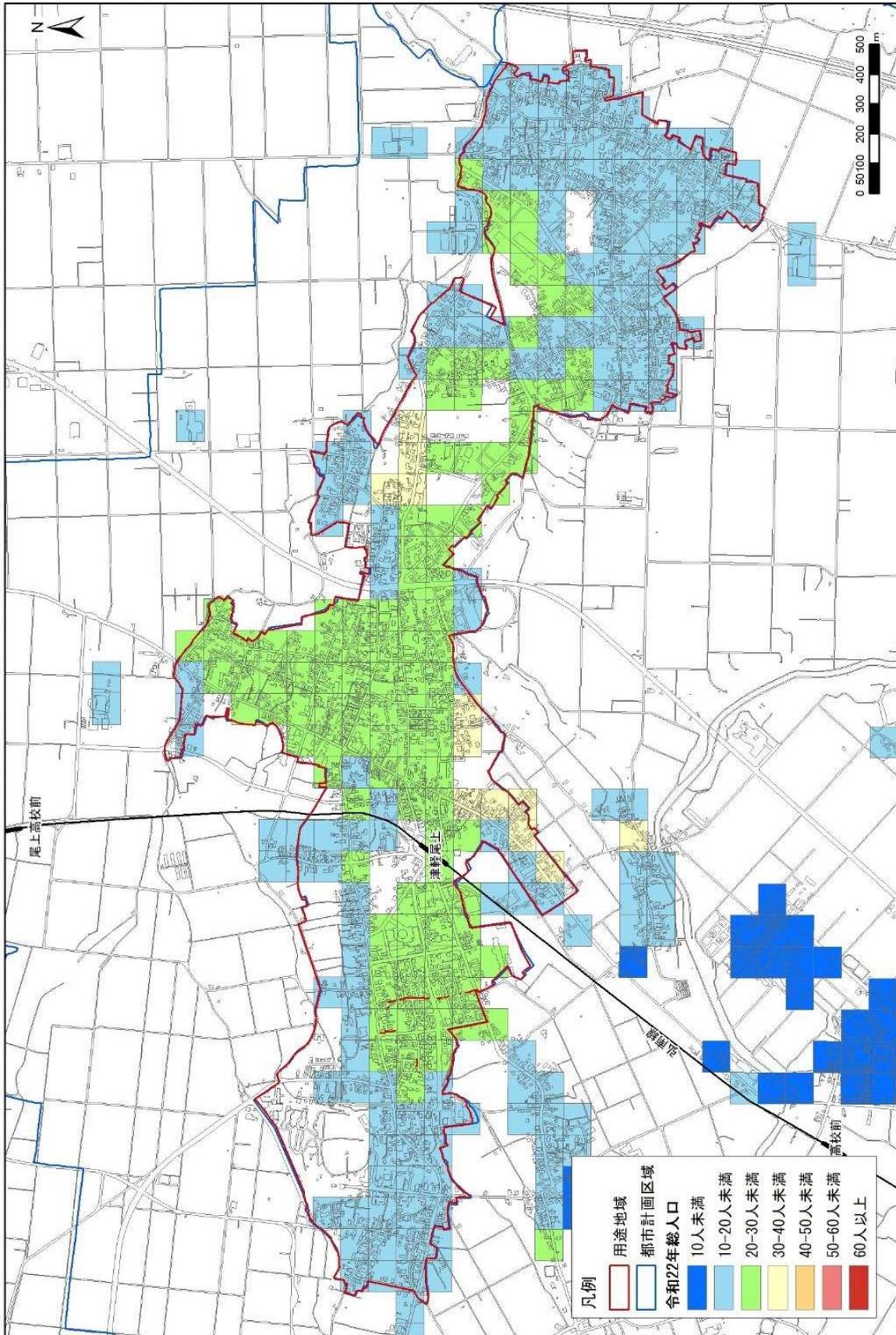
出典：国土技術政策総合研究所「将来人口・世帯予測ツール V3(R2 国調対応版)」

図3.2.2 100mメッシュ人口(令和22年(2040年)用途地域)(平賀地域)



出典：国土技術政策総合研究所「将来人口・世帯予測ツール V3(R2 国調対応版)」

図3.2.3 100mメッシュ人口(令和22年(2040年)用途地域)(尾上地域)

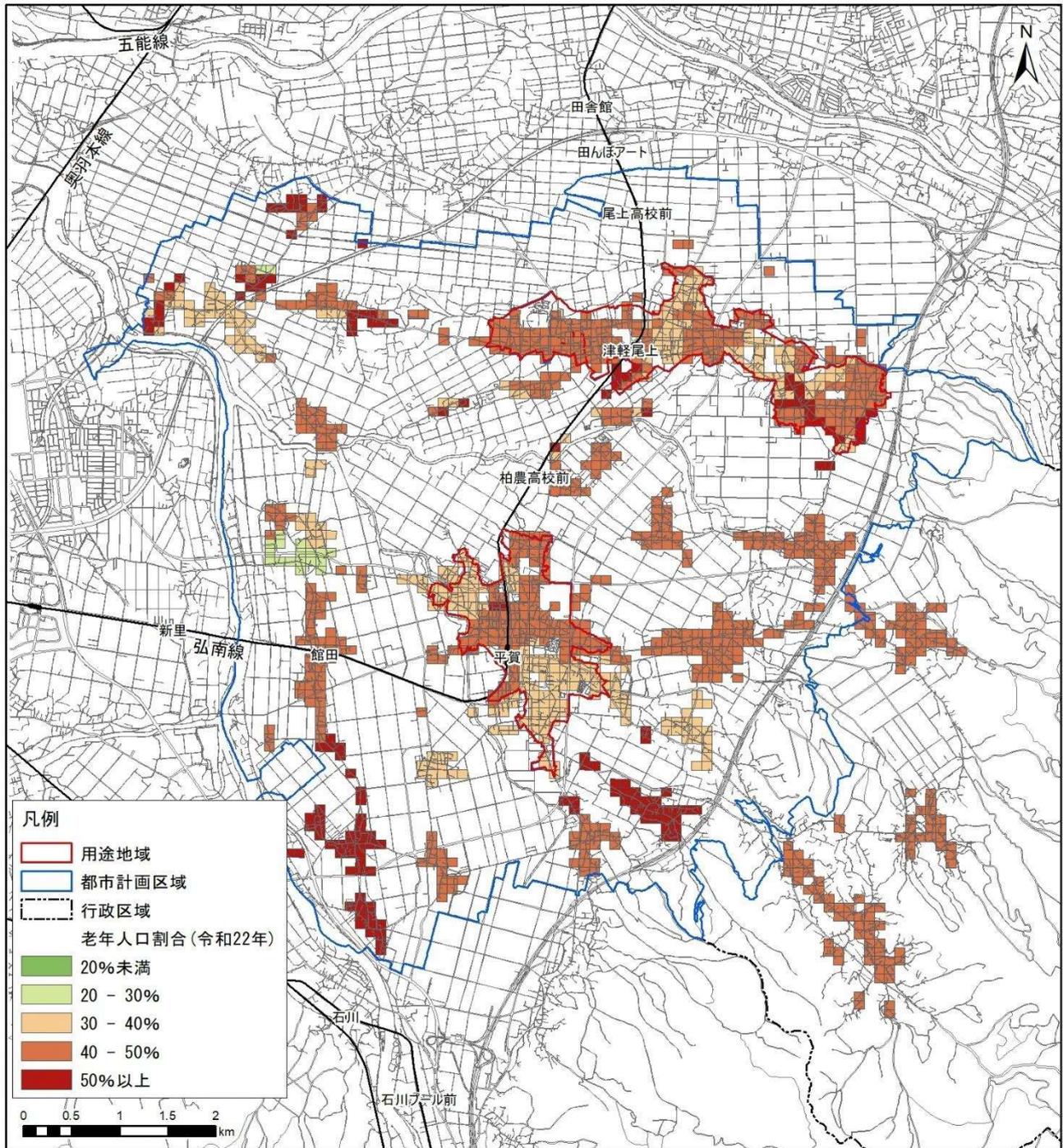


出典：国土技術政策総合研究所「将来人口・世帯予測ツール V3(R2 国調対応版)」

3.2.2 100mメッシュ別高齢化率の推計

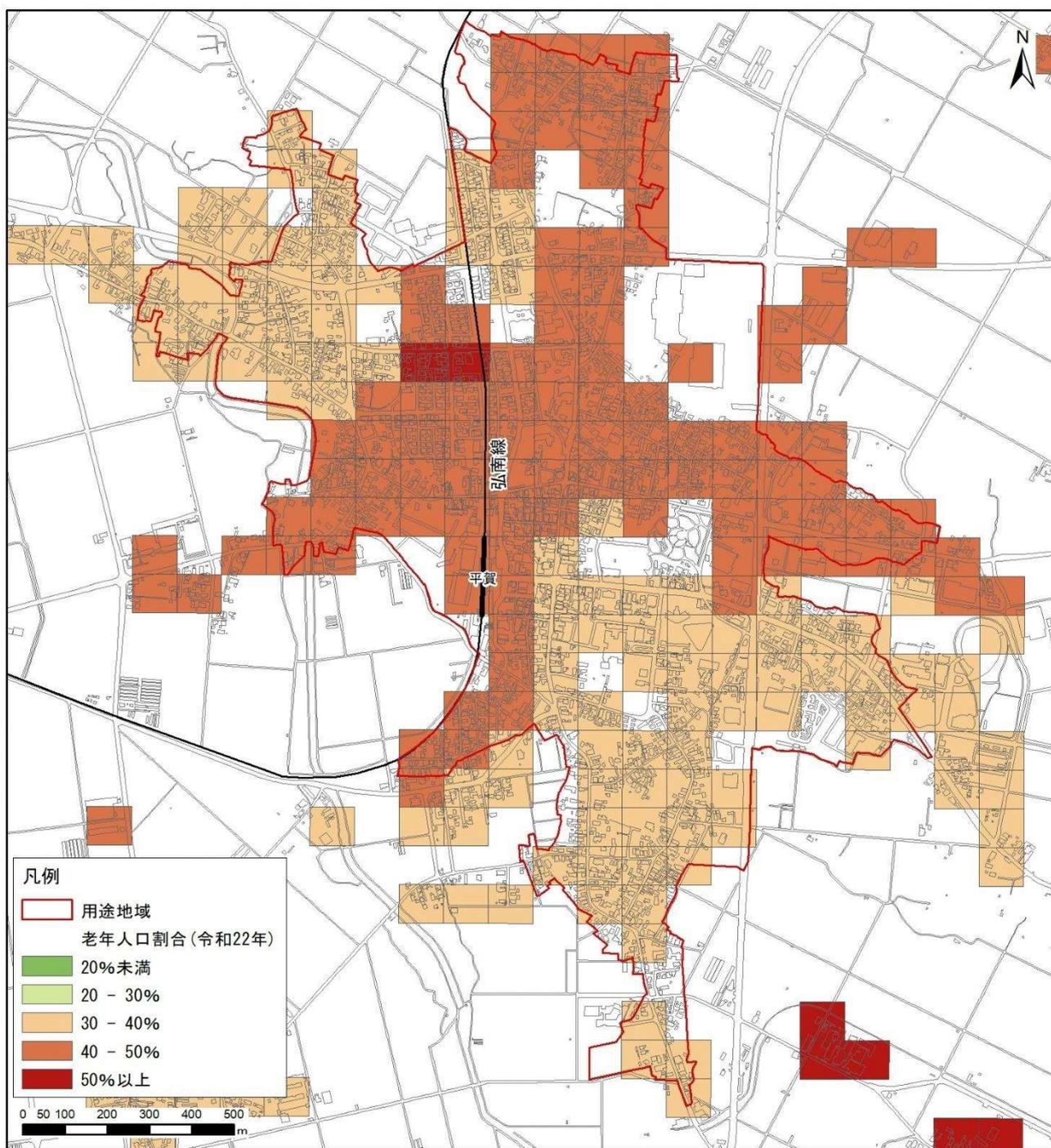
令和22年(2040年)の高齢化率(65歳以上の老年人口の割合)をみると、令和2年(2020年)の高齢化率に比べて全体的に高齢化が進行すると見込まれており、特に市街化調整区域で高齢化の進行が顕著にみられます。また、市街化区域内においても、平賀駅周辺や津軽尾上駅周辺等で高齢化の進行が見込まれています。

図3.2.4 100mメッシュ 老年人口割合(令和22年(2040年)都市計画区域)



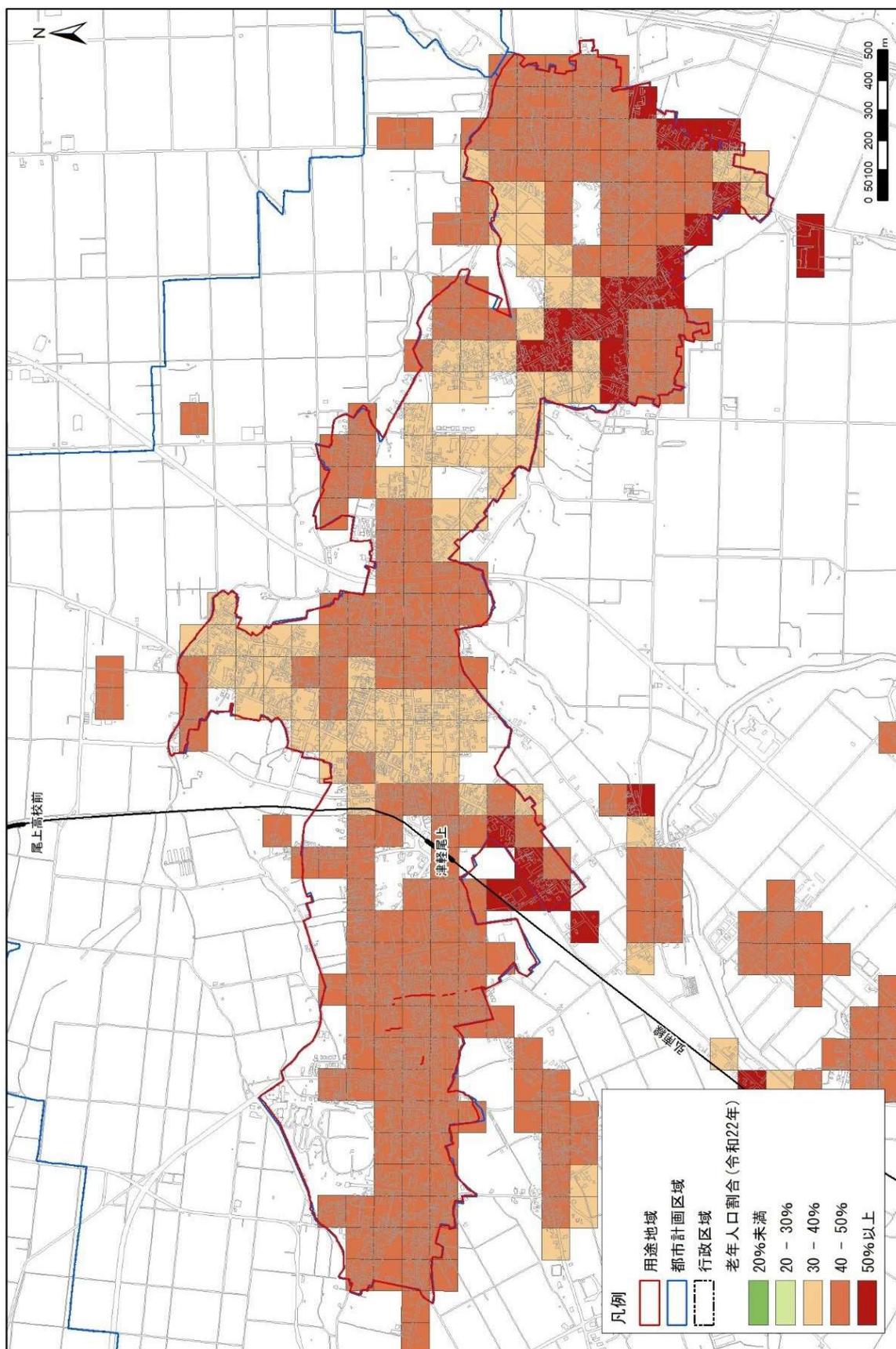
出典：国土技術政策総合研究所「将来人口・世帯予測ツール V3(R2 国調対応版)」

図3.2.5 100mメッシュ 老年人口割合(令和22年(2040年)用途地域)(平賀地域)



出典：国土技術政策総合研究所「将来人口・世帯予測ツール V3(R2 国調対応版)」

図3.2.6 100mメッシュ 老年人口割合(令和22年(2040年)用途地域)(尾上地域)



出典：国土技術政策総合研究所「将来人口・世帯予測ツール V3(R2 国調対応版)」